

# 第 8 期守山市高齢者福祉計画・守山市介護保険 事業計画（重点的取組）の進捗状況について

# 第8期計画の施策体系 基本理念「みんなでつくる、生涯いきいきと暮らせるまち 守山」

(★は重点的取組)

## I 健康寿命の延伸と元気力アップへの“いきいき”活動の推進

- (1) 積極的な健康づくり
- (2) みんなで取り組み、誰もが参加しやすい介護予防の推進 ★
- (3) 生きがいのある暮らしへの支援

## II みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進

- (1) 地域包括支援センターの機能強化 ★
- (2) 在宅医療と介護の連携強化
- (3) 高齢者の尊厳の保持
- (4) 地域全体で取り組む認知症対策の充実（「共生」「予防」） ★
- (5) 地域共生社会の実現に向けた支え合いの地域づくり ★
- (6) 高齢者の住まいづくり

## III 高齢者と家族を支える介護体制の充実

- (1) 介護サービスの充実と在宅生活への支援★
- (2) 介護人材の確保・育成★
- (3) 身近な情報提供・相談体制の充実
- (4) 介護保険制度の適正・円滑な運営
- (5) 災害・感染症対策に係る体制整備

# 基本目標 Ⅰ 健康寿命の延伸と元気力アップへの“いきいき”活動の推進

## 基本施策（２） みんなで取り組み、誰もが参加しやすい介護予防の推進 ★

### 【具体的な取組】

- ・自治会、老人クラブ等身近な場所での交流、活動の場づくり
- ・通いの場を中心としたフレイル対策（運動、口腔、栄養、社会参加）の観点から保健事業と介護予防の一体的な実施等

### 【目標値と実績】

介護予防に資する活動を行う通いの場の団体数および参加者数		R2年度	R3年度		R5年度
		実績	目標	実績	目標
通いの場	団体数	72団体	77団体	78団体	87団体
	参加者数	1,100人	1,180人	1,116人	1,340人
各体操の団体数内訳	守山百歳体操	66団体	71団体	73団体	80団体
	守山健康のび体操	17団体	20団体	21団体	25団体

出前講座の開催回数および参加者数	R2年度	R3年度		R5年度
	実績	目標	実績	目標
開催回数	29回	70回	70回	150回
参加者数	783人	2,000人	2,585人	4,500人

### 【評価】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、介護予防教室を開催できないことがあったが、通いの場団体数は順調に増加した。介護予防教室を圏域ごとに行い、参加者から好評を得ており、今後も継続して実施する。

### 【課題および対応】

- 《課題》
- ・地域の通いの場の拡大に向けた新たな団体の立ち上げ支援に努める必要がある。
  - ・団体の継続意欲の維持と向上に努める必要がある。
- 《対応》
- ・団体の立ち上げ支援として通いの場に参加するきっかけづくり（新たな介護予防教室の開催、団体への体操指導等。）
  - ・体力測定、体操指導を通じた継続支援により、取組に係る参加者の意欲の維持向上に努める。

# 基本目標Ⅱ みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進

## 基本施策（１）地域包括支援センターの機能強化 ★

### 【具体的な取組】

- ・ 南部、中部、北部の３圏域と基幹型との役割分担の明確化
- ・ 身近な地域で相談し支援を受けられる体制の充実 など

### 【目標値と実績】

基幹型と圏域センターの連携	R2年度	R3年度		R5年度
	実績	目標	実績	目標
情報共有会議（センター長会議）	12回（3圏域）	12回（3圏域）	12回（3圏域）	12回（3圏域）
3職種別会議	36回（2圏域）	36回（3圏域）	30回（3圏域）	36回（3圏域）

ケアマネジメント支援に関するもの		R2年度	R3年度		R5年度
		実績	目標	実績	目標
ケアマネジャー研修会の開催	開催回数	6回	6回	5回	6回
	参加人数	220人	360人	212人	360人

### 【評価】

- ・ 当初の予定どおり3圏域に地域包括支援センターを開所でき、全圏域を委託による運営とし、基幹型は後方支援と政策形成等の分担により、効率的・効果的な運営に努めることができた。
- ・ 基幹型と圏域との連携については、オンライン開催など感染防止に配慮しながら、定期的な情報交換が行えた。

### 【課題と対応策】

- ≪課題≫ ・ 令和6年度の次期委託契約に向けて、運営評価および効率的・効果的な運営について仕様書等の見直しを行う必要がある。
- ≪対応≫ ・ 事業の利用者や日頃連携している地域の支援者等へのアンケート結果等をもとに、圏域包括の運営評価を行い、次期委託契約の内容検討を行う。

# 基本目標Ⅱ みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進

## 基本施策（４）地域全体で取り組む認知症対策の充実（「共生」「予防」） ★

### 【具体的な取組】

- ・ 認知症の正しい知識に関する普及啓発
- ・ 認知症の早期発見・早期支援の推進
- ・ 認知症高齢者や介護家族に対する支援

### 【目標値と実績】

認知症支援・普及啓発		R2年度		R3年度		R5年度		認知症高齢者や介護家族 に対する支援	R2年度		R3年度		R5年度	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標		実績	目標	実績	目標		
認知症サポーター養成講座（上級編含）	開催回数	15回	20回	20回	30回	行方不明高齢者SOSネットワーク協力機関数	63機関	70機関	64機関	105機関				
	養成人数	1,300人	1,500人	879人	1,700人									

### 【評価】

- ・ 認知症の正しい知識の普及啓発について、感染防止対策を講じる中、概ね予定どおり実施できた。
- ・ 世界アルツハイマーデー（9/21）に多世代が利用する図書館を利用することで、広く認知症の啓発を行うことができた。

### 【課題と対応策】

- ≪課題≫ ・ 養成したサポーターの活動の場の検討・確保が必要である。
- ・ 認知症初期の方の把握方法や、その地域・職域等社会活動の継続に向けた認知症の正しい知識の普及・啓発を行う必要がある。
- ≪対応≫ ・ 認知症の人や家族の支援ニーズとサポーターをつなぐ仕組みを整備する（チームオレンジの確保）。
- ・ 地域の通いの場等に出向き、認知症初期集中支援対象者を把握し、必要な医療介護サービスの利用支援に努める。

# 基本目標Ⅱ みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進

## 基本施策（５）地域共生社会の実現に向けた支え合いの地域づくり ★

### 【具体的な取組】

- ・ 協議体の構成等の見直しによるコーディネート機能の強化
- ・ 地域資源の発掘、創出、支援者のネットワークの構築

### 【目標値と実績】

地域住民が主体の地域づくり		R2年度	R3年度		R5年度
		実績	目標	実績	目標
協議体の参加者数	第1層	18人	20人	19人	30人
	第2層	300人	400人	319人	700人

協議体で立ち上がった新しい取組の数	R2年度	R3年度		R5年度
	実績	目標	実績	目標
取組数	1	2	4	4

### 【評価】

- ・ 第2層協議体で、ゴミ出し支援、生活支援ボランティア等の取組が実施された。
- ・ 新たな補助制度を創設し、生活支援、健康づくりに取り組む高齢者の団体の立ち上げを促進した。

### 【課題および対応】

- 《課題》
- ・ 第1層協議体の目指す方向性が明確になっていない。
  - ・ 第2層協議体の進捗状況に差が出てきている。
- 《対応》
- ・ 他市町等の第1層協議体の取組事例の紹介等により、方向性の明確化を図る。
  - ・ 第2層協議体の体制見直し等学区の状況に応じた支援を行う。

# 基本目標Ⅲ 高齢者と家族を支える介護体制の充実

## 基本施策（１）介護サービスの充実と在宅生活への支援 ★

### 【具体的な取組】

- ・ 地域密着型サービスの計画的な整備
- ・ 広域も含めた入所施設の整備の検討

### 【目標値と実績】

介護サービスの充実と在宅生活への支援	R2年度	R3年度		R5年度
	実績	目標	実績	目標
地域密着型サービスの新規整備数	75%	—	実施法人の決定 (7期延伸分)	100%
施設の新規整備数	—	—	—	100%

※数値は、介護保険事業計画に定めた整備数に対する整備割合

### 《参考》

#### 第8期計画期間中の整備予定数および年度

広域	介護老人福祉施設	定員30人×1施設（改築）	令和5年度
	介護老人福祉施設	定員80人×1施設（新設）	令和5年度
地域密着型	小規模多機能型居宅介護	定員29人×2施設（うち1施設は第7期計画の延伸分）	令和4年度、令和5年度
	認知症対応型共同生活介護	定員18人×1施設	令和5年度

### 【評価】

計画どおり、小規模多機能型居宅介護施設において、令和3年度中に実施法人を決定することができた。

### 【課題および対応】

- 《課題》・公募を行うものの、すぐに応募に至らない。
- 《対応》・事業者が応募しやすい条件の見直しを行う。

# 基本目標Ⅲ 高齢者と家族を支える介護体制の充実

## 基本施策（２） 介護人材の確保・育成 ★

### 【具体的な取組】

- ・ 総合的な介護人材確保を推進するための基盤を確保し、介護職の魅力の向上や多様な介護人材の確保・定着に向けた取組を図る。
- ・ 外国からの人材確保を行う法人に対し、法人が支給する家賃補助の一部を補助し、外国人の介護人材確保にも取り組む。

### 【目標値および実績】

介護人材の確保・育成	R2年度	R3年度		R5年度
	実績	目標	実績	目標
介護職員就職支援事業補助金の交付決定者	4人	5人	3人	10人
外国人介護人材確保支援事業補助金の交付決定者	—	—	—	5人

※外国人介護人材確保支援事業補助金は、令和4年度からの新規事業であることから、令和3年度までの実績、目標はなし。

### 【評価】

- ・ 介護職員就職支援事業補助金の交付決定者数の目標には至らなかったものの、人材確保の取組としては、おおよそ実施することができた。

### 【課題および対応】

- 《課題》・ 就職はできても、定着に至らないケースが多い。
- 《対応》・ 定着に成功している事業所と共同した取り組みも視野に入れる。